

<b>3類型</b>	農林水産物	<b>通巻番号</b>	3 - 19 - 033
<b>地域資源名</b>	長野県産米、信州黄金シャモ、 長野県産ももなど	<b>認定日</b>	平成19年12月13日
<b>地域</b>	長野県上伊那郡南箕輪村	<b>所管省庁</b>	農林水産省、経済産業省

## 事業名:長野産の生産者の顔が見える「医食同源食」の開発・販売

会社名:合同会社 信州自然村

所在地:長野県上伊那郡南箕輪村12番地

連絡先:TEL:0265-73-5748

H P :http://www.shizenmura.jp/

FAX:0265-76-6388

### 事業概要(新たな活用の視点)

・本事業では、当社が構築を推進しているオーブントレーサビリティのシステムをベースに、今後5年間に亘り、長野県の地域産業資源である農水産物を活かした加工食品の開発・製造を行う。  
商品コンセプトは「医食同源」。生産者の顔が見える安心・安全な食材で、おいしく手軽で、体に良い加工品の充実を図る。＜生産者の顔の見える食材＞100%トレーサビリティがしっかりした長野県の食材を使う点が、他社と大きく異なる。

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### 競争力

・長野県で採れた野菜や果物を地元で加工するため、市場には流通しにくい珍しい品種や伝統野菜等も使用可能である。中小の加工業者の良さ(手づくり感)を活かし、素材のおいしさ、風味、鮮度を感じられる「おいしい医食同源食」を創出する。

#### 市場性

・既存事業を通じてお客様や量販店のバイヤーからは年齢性別を問わず、「安心・安全で身体によい食」を求める声をいただいている。

#### 販路

・まず“信州自然村”ブランド商品の固定顧客をターゲットとし、既存の販売チャンネルに新商品を投入しながらコアファンの育成を図る。“信州自然村”ブランドの顧客リストは、自社が把握しているものだけで10万人を超え、その他生協や関連企業の利用客もあわせると相当数に達する。

その他、実際に医食同源食を体感し共感してもらおう場として、JTB企画「医食同源の旅」と連動させ、潜在顧客の開拓へつなげていく。

第2ステップでは、旅の参加者からその家族へと顧客を拡大。信州自然村ブランドの知名度を高め、首都圏への進出、全国展開を図り、ネット販売の充実も進める。

### 地域資源における関係事業者との連携

・本事業には、長野県内各地の生産者や中小零細の加工業者等の協力・連携が不可欠であり、その数は個人・法人を含めて既に40社以上に達する。



【本事業の生産者】  
三澤さん



【本事業の生産者】  
大池さん



【人参収穫風景】



【有機質栽培・減農薬栽培の人参】